

# 平成28年度 加茂市南蒲原郡図工・美術部 活動報告

部長 村木 札貴

## 1 研究主題

「子どもの絵のよさを見付け、伸ばす指導のあり方」

## 2 研究の概要

5月16日（月） 事業計画立案・研究テーマ決定

8月26日（金） 研修会

## 3 研究の実際

### (1) 主題設定の理由

平面作品に取り組ませると、子ども一人一人の作品のよさを活かすことに難しさを感じたり、どのような指導をしたら作品のよさを伸ばすことができるのか悩んだりする部員の悩みから、上記のような研究主題を設定した。

### (2) 研修日時・場所

8月26日（金） 14:00～16:00

加茂市立石川小学校 会議室

### (3) 講師

小千谷市立千田小学校 校長 佐藤 久美子 様

### (4) 研修内容

#### ア 鑑賞研修

中越教育美術展の特別賞の作品をお借りし、また、部員が指導した子どもの作品を持ち寄って、子どもの絵の見方についてご指導いただいた。部員が気になった作品を取り上げ、それぞれのよさを見付け合った。その子どもが描きたいと思っていることを汲み取って、まだ描ききれていない所を補う支援が必要であると学んだ。

#### イ 講話

- ①活動のねらいを教師が明確にもっていることが大切である。そして、それを子どもにはっきりと示してやることも大切である。
- ②子どもと対話しながら、その子の思いを引き出す手助けをすること。
- ③子どもが自分で満足して描き終わることが大事。
- ④よい作品をつくるためのその場限りの指示でなく、教師の手を離れても将来自分の力として生きていくものを大切にする。
- ⑤「うまい・下手」で判断しない価値観と、夢中になって何かをつくり出す、そのことに意味を見いだせるように育てる。

#### ウ 実技研修

「心のもよう（一筆がきアート・ガムテープでお絵かき）」

「本物そっくり（水性色鉛筆体験）」

「墨が生み出す豊かな世界（伝統文化の伝承）」

ペアになり、一筆で自由な線を交互に描いた。様々な色を使って自由な線を描く楽しさを味わった。また、ガムテープを使って平面作品を描いたり、水彩クレヨンを使って重色で着色したりと、試しながら題材の変化を楽しんだ。最後に、グループで水墨画に挑戦した。墨の濃淡や筆の使い方を考えながら、作品を完成させていった。様々な題材のよさを今後どのように授業に活かすことができるかを考えることができた。

## 4 成果と課題

研修会を終えて、とても充実感のある時間を過ごすことができた。講師の先生の温かいお言葉の中に、子どもに対する深い愛情を感じる事ができた。「うまい・下手」ではなく、「うまくはできないが、つくるのが大好き」という子どもを育てるために、子どもの思いを引き出し伸ばしていくために、どのような支援が必要なのか、実践を通して考えていく。